

むくのきだより



9月号

平成27年9月1日

港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

夏の思い出

園長 小鹿原 賢

暑い夏の終わりを告げるように、トンボが園庭を飛んでいました。酷暑で始まった夏休みは、秋の気配を感じて終わりました。

甲子園 100 周年、戦後 70 周年、日航機墜落事故 30 年…。長い歴史と月日の経過を知り、改めてそれぞれの出来事のもつ意味を考えました。

また、社会的には子どもが巻き込まれる事故や痛ましい事件もあり、子どもの安全と健全な育成については、世の大人の責任において、守っていかなければならないことであると痛感いたしました。

子どもたちの夏休みはどうだったでしょうか。自然体験や旅行、様々な経験…。きっと、良き思い出となり、2 学期に活かされることでしょう。私の幼稚園の子どもたちとの思い出は、楽しかった「夕涼み会」です。

アウトドア大好き園長(自称)は、朝からやる気満々。それもそのはずで、7 歳～15 歳までボーイスカウトに所属し、テント張り、かまど作り・飯盒炊飯はお手のものです。ブロックでかまどを作り、薪に火をつけ、大きな鍋にカレーを作りました。ご飯は炊飯器で作りましたが、おいしいカレーを子どもたちと一緒に食べました。おかわりをする子どももいて嬉しい限りでした。

かまどの火、目にしみる煙、カレーの匂い、そして子どもたちの笑顔。夏の夕方のひとつ時でしたが、ゆっくりと時間が流れました。さくら組さんは、来年を楽しみにしてください。

さて、2 学期が始まりました。スポーツ・運動・芸術・食欲の秋の季節を感じる行事や保育があり、子どもたちにとって、楽しみがたくさん待っています。また、「子育てサポート保育・むくのきクラブ」が始まります。保護者の皆様の子育て支援することを目的とした事業ですが、利用する子どもたちにとっては新たな居場所作りとなります。安心・安全な取組にまいります。

2 学期も、元気なあいさつが通い合う、楽しい園運営に努めます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

